音楽科学習指導案

VR 映像を活用した《ラデツキー行進曲》の鑑賞授業
～興味をもった楽器を探して，観察して，実況しよう～

授業者 附属池田小学校 石光政徳

1．対象 附属池田小学校第 3 学年東組（33名）

2．単元目標

・**知識**に関して（本単元は鑑賞領域のため技能についての記載はなし）

オーケストラの楽器の音色の特徴について，音と関わらせて理解し，楽曲のよさを味わう。

・**思考力，判断力，表現力等**に関して

オーケストラの楽器の音色の特徴を知覚・感受して，楽曲全体の味わいにつなげる。

・**学びに向かう力，人間性等**に関して

オーケストラの楽器の音色の特徴に関心をもち，その特徴を追究して，楽曲全体の味わいにつなげる。

3．指導に当たって

（1）教材観

ヨハン・シュトラウス I 世によって作曲された《ラデツキー行進曲》は，複合三部形式（前奏―主題―展開部―中間部―前奏―主題―展開部）で構成されている。主旋律は，主としてヴァイオリンやフルートやクラリネット，副旋律はそれ以外の楽器によって奏でられる。そのため，単に音源を聴いただけでは，主旋律以外の楽器の音色を判別しにくく，オーケストラの楽器群（弦楽器，金管楽器，木管楽器，打楽器）の音色の特徴を知覚・感受することは難しいと思われる。

この課題を解決するために，大阪教育大学シンフォニーオーケストラと株式会社アルファーコードにより作成された《ラデツキー行進曲》の VR 映像（360°の空間を視聴できる映像システム）を教材として使用することとした。本 VR 映像は，《ラデツキー行進曲》の演奏を四つのカメラ視点で収録しており，その視点の中から児童が興味をもった箇所を選択して，視聴することができる。視点①では弦楽器群，視点②では木管楽器群，視点③では金管・打楽器群，視点④はオーケストラ全体，を選択できる。加えて，四つの映像視点に対応したオーケストラの楽器の音色を聴くことが可能となっている。例えば，視点①の映像では弦楽器群の音色が聴き取りやすくなっている。

以上より，VR 映像を扱うことによって，児童が興味を持続させながら主体的に各楽器の音色の知覚・感受を促して，《ラデツキー行進曲》の楽曲全体の味わいにつなげられるのではないかと考えた。

（2）児童観

第3学年における鑑賞領域の授業は，W.A.モーツァルト作曲の《きらきら星変奏曲》と，カミーユ・サン=サーンス作曲の《動物の謝肉祭》の〈白鳥〉を扱った。

《きらきら星変奏曲》では変奏曲形式を指導内容とした図形楽譜づくりを行った。図形楽譜づくりとは「音楽を聴きながら，色紙を切って，知覚し感受したことを表す図形をつくり，音楽の構成に対応させて模造紙に貼っていく活動」である。他者と図形楽譜をつくる過程では，他者との楽曲の聴き方の違いにより，楽曲に対する知覚・感受の深まりがみられた。

《動物の謝肉祭》の〈白鳥〉では旋律と伴奏の重なりを指導内容とした身体表現の創作活動を行った。〈白鳥〉の伴奏の有無を比較聴取することを通して，旋律と伴奏が重なることによる〈白鳥〉のよさに気づく姿がみら

れた。

本単元の《ラデツキー行進曲》では，オーケストラの楽器の音色を指導内容として，オーケストラの楽器の音色の知覚・感受を VR 映像に合わせて実況する，という活動を行う。これまで，《きらきら星変奏曲》では変奏曲形式による音楽の諸要素の変化，〈白鳥〉ではチェロとピアノ伴奏の重なりに触れて学習してきた。これらの学びを生かして，《ラデツキー行進曲》を聴くことによって，オーケストラの楽器の音色の知覚・感受をより深められるのではないかと考えた。

(3) 指導観

本単元では VR 映像を活用する。理由は，児童が気に入ったオーケストラの楽器の音色を，バーチャルの世界に観察しにいける環境をつくることで，オーケストラの楽器の音色の知覚・感受を深めることができると考えたからである。例えば，視点①の弦楽器群では，弓やピッチカート（指で弾く奏法）で演奏する様子を間近に観察できる。演奏する様子を観察することによって，児童は，「弦楽器のポンポンポンという優しい音は，弦を指で弾くという奏法が関係している」ということに気づき，オーケストラの楽器の音色の知覚・感受を深めることができると考えた。つまり，VR 映像は，これまで不可能とされてきたオーケストラの各楽器の演奏の様子の観察をすることを可能として，オーケストラの楽器の音色の知覚・感受を深めることに寄与すると考えた。

4.評価規準

知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 紹介文において，オーケストラの楽器の音色についての理解を基に楽曲全体の味わいを人に伝えている。 ② 紹介文に用語について理解したことを，音や音楽と関わらせて書いている。	① オーケストラの楽器の音色について知覚・感受したことを発言したり，記述したりしている。 ② オーケストラの楽器の音色についての知覚・感受を手がかりにして，楽曲全体を通した味わいを紹介文に記入している。	① オーケストラの楽器の音色に関心をもち，VR 映像をみたことによって得た気づきを発言している。 ② オーケストラの楽器の音色に関心をもち，実況文をつくる過程で，音楽的な根拠をもって他者に伝えようとしている。

5. 単元の指導計画（全5時間）

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1	・ピアノ版とオーケストラ版の《ラデツキー行進曲》を比較聴取して，オーケストラの楽器の音色を知覚・感受する。	・オーケストラの楽器の音色を知覚・感受したことを発表したり，ワークシートに書いたりしている。	●	●		ワークシート
2・3	・オーケストラの楽器について知り，お気に入りの楽器を決める。 ・お気に入りの楽器の調べ学習	・弦楽器，木管楽器，金管楽器，打楽器群があることを理解している。			●	観察

	をする。 ・お気に入りの楽器の音色を知覚・感受を基にして，グループで実況文を作成する。					
4 【本時】	・お気に入りの楽器の音色の知覚・感受を基に，実況文を大まかに完成させる。 ・作成した実況文を中間発表して，お気に入りの楽器の音色の知覚・感受が他者に伝わるかどうかを確かめる。	・お気に入りの楽器の音色を知覚・感受をワークシートに記入している。		●	○	ワークシート 観察
5	・実況文を発表して，紹介文の記入をする。	・実況文を発表して，紹介文を記入している。	○	○	○	アセスメントシート 観察

●・・・形成的評価（指導に活かす評価）　◯・・・総括的評価（記録に残す評価）

6．本時の展開

(1)本時の目標

オーケストラの楽器の音色を聴き取り，それによって生み出される特質（イメージ等）を関わらせながら音楽を聴き，《ラデツキー行進曲》の実況文を書くことができる。

(2)本時の評価規準

オーケストラの楽器の音色について知覚・感受したことを主体的に発言したり，ワークシートに記述したりしている。（思考・判断・表現）（主体的に学習に取り組む態度）

(3)本時で発揮されるグローバル市民性について

グローバル市民性を構成する要素に協働性が挙げられる。協働性がみられる場面は，グループで《ラデツキー行進曲》の実況文を考える場面である。この場面では，実況文を作成するという共通の目的によって，互いの考えの合意形成を図ることになる。合意形成を図る過程では，「私はこんな風に感じたけれど，あなたはどうですか？」といったコミュニケーションが生まれる。コミュニケーションによって，他者との楽曲の聴き取り方の違いに気づき，実況文をつくり変えていく，というようなグローバル市民性が発揮されると考える。

（4）展開

学習過程	学習活動および内容	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 五分	・　これまでの学習を振り返ることで，オーケストラの楽器群の音色の違いを大まかに確認する。	・　ピアノ版とオーケストラ版の音源を比較聴取させることによって，オーケストラ版の楽曲のよさについて振り返らせる。 ・　オーケストラの楽器群の音色の知覚・感受を大まかに確認して，それぞれの楽器群の音色の違いを振り返らせる。	

展開 三十五分	・ グループで実況文を考えることで，楽曲に対する知覚・感受を深め合う。 ・ 中間発表をすることで，客観的に実況文を振り返り，表現の工夫の手がかりを得る。 ・ 中間発表を基にして実況文をつくり変えることで，より人に伝わる表現の工夫を考える。	・ ワークシートを配付する。 ・ オーケストラの楽器の音色の知覚・感受に対応した実況になっているのかを確認させるために，随時動画を撮って確認してもいいことを伝える。 ・ 前時の調べ学習の内容を参考にして，実況文を考えてもよいことを伝える。 ・ オーケストラの楽器の音色の知覚・感受を意識して，実況文を作成しているグループを抽出する。 ・ 抽出グループの発表を聞いて，気づいたことを交流する。そのことによって，表現の工夫の手立てとする。 ・ 表現の工夫の手がかりを基にして，再度，実況文をつくり変えさせる。	ワークシート（思考・判断・表現） 観察（主体的に学習に取り組む態度）
まとめ 五分	・ 本時を振り返ることで，学びをメタ認知する。	・ 本時の学びをロイロノートに振り返らせる。 ・ 必要に応じて，数人発表させる。	ワークシート（思考・判断・表現）

（5）準備物

・ VR 映像と音源
・ chrome book

7. 参考文献

・ 内兼久秀美（2023）「VR 映像で曲想と音楽の構造との関わりを理解し，音楽のよさや美しさを味わおう～VR 映像を活用した鑑賞領域の学習の試み～」発表資料
・ 小島律子(2011)『子どもが活動する新しい鑑賞科授業　音楽を聴いて図形で表現してみよう』音楽之友社，pp.51-60
・ ラデツキー行進曲の VR 映像の URL https://share.blinky.jp/s/NDM0NQ （2023 年 10 月閲覧）